

第四十一回
帝國議會
貴族院
地方鐵道法案外四件特別委員會議事速記第一號

付託議案

輕便鐵道補助法中改正法律案
鐵道抵當法中改正法律案
鐵道船舶郵便法中改正法律案
鐵道營業法中改正法律案

委員氏名

委員長	侯爵細川	護立君
副委員長	古市	公威君
委員	子爵豐岡	圭資君
	子爵伊東	祐弘君
	河村	讓三郎君
	小松	謙次郎君
	男爵福原	俊九君
	男爵調所	恆德君
	佐藤	傳兵衛君

大正八年三月十三日(木曜日)午後二時二十五分開會
○委員長(侯爵細川護立君) 開會イタシマス、此五案ヲ
東ネマシテ、大體ニ付キマシテ政府ノ説明ヲ求メマス

○政府委員(佐竹三吾君) 此度提案イタシマシタ地方
鐵道法ハ現行ノ私設鐵道法ト輕便鐵道法、此二ツノ法律
ヲ廢止イタシマシテ新ニ地方鐵道法ヲ制定スルト云フ趣意
デゴザイマス、付キマシテ其廢止イタシマスル理由ヲ簡單ニ
申上ゲタイト思フノデアリマス、之ヲ申上ゲルニ當リマシ
テ、ドウ云フ譯デ私設鐵道ト輕便鐵道法ノ一ツガ今日存シ
テ居ルカト云フコトヲ簡單ニ申上ゲル必要ガアルト思フノデ
アリマス、私設鐵道法ヲ明治三十三年ニ制定シナリマシテ
其當時ニ於キマシテハ一地方ノ鐵道ハ固ヨリ、幹線トナル
ベキ鐵道モ民間ノ出願ガアリマスレバ之ヲ許スコトニナッ
テ居タルデアリマス、其免許ヲ與ヘマスルニ付キマシテ私設鐵
道法ト云フモノガ定メラレテアッタノデアリマス、然ルニ明治
三十九年ニ至リマシテ鐵道國有法ノ制定サレマシタ際、其
第一條ニ於キマシテ一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ國ノ所
有トス但シ一地方ノ交通ヲ目的トスルモノハ此限ニ在ラス
ト、斯ウ云フコトヲ定メマシテ、總テ鐵道ハ國ノ所有デア
ル、唯地方の鐵道ニ限リマシテ民間經營ヲ許スト云フ趣旨ヲ
定メタルデアリマス、其趣旨ニ依リマシテ其當時存在シテ居
リマシタ所ノ私設鐵道會社ノ中デ十七ノ會社ヲ選ビマシテ
之ヲ國有ト致シタルデアリマス、從テ其當時尙ホ二十有餘

ノ私設鐵道會社存在イタシテ居リマシタガ、是ハ一地方
ノ交通ヲ目的トスルモノデアアル、斯ウ云フコトヲ法律上デ認
メラレタヤウナ結果ニナリタト考ヘテ居リマス、ソレト同時ニ
從來私設鐵道法ナルモノガ幹線ト地方鐵道トヲ問ハズ免
許スルコトガ出來ル規定デアリマシタノヲ制限ヲ受ケマシテ
一地方ノ交通ヲ目的トスルモノニ限ッテ私設鐵道法ニ依
テ免許ヲ與ヘル、斯ウ云フコトニナリタノデアリマス、斯ウ云
フコトニナリタノデアリマス、然ルニ私設鐵道法ニ於キマシテ
ハ立法ノ趣旨ガ幹線支線ヲ併セテ規定シテ居ルノデアリマ
スカラ、鐵道ノ共用運輸ノ直通ト云フヤウナ趣旨カラ致シ
マシテ軸重ノ重サデアルトカ、勾配デアルトカ、曲線デア
ルトカ、軌道ノ中心間隔デアルトカ、停車場ノ側線、給水ノ設
備、其他總テ政府ノ鐵道モ民間ノ鐵道モ共通イタシマシ
軍用ニ供スルコトカ、經濟上ノ利用ヲ全ウスルコトカ、斯ウ云
趣旨カラ出來テ居タルデアリマスカラ、小サイ鐵道ニ對スル
設備ト致シマシテハ負擔ガ重過ギルヤウニ考ヘラレタノデア
リマス、併ナガラ國有法ガ出マシタケレドモ、此儘此私設鐵
道法ニハ改正ヲ加ヘズシテ經過イタシマシタノデアリマス
ガ、明治四十三年ニ明治四十四年ニナリマシテ輕便鐵道
法ト云フ法律ガ制定サレタルコトヲ途ヲ開イタルデア
リマス、輕便鐵道法ト私設鐵道法ト比較イタシマスル、唯
今申上ゲタ如ク設備ニ於キマシテ種々相違シテ居ル點ガア
ルノデアリマス、其二三ヲ申上ゲマスレバ、私設鐵道法ニ於
キマシテハ「レール」ハ「ヤード」四十五封度以上ト云フ制
限ガアリマシテ、然ルニ輕便鐵道法ニ於キマシテハ全ク此制
度、十六封度、斯ウ云フヤウナ軌條ヲ用ヒルモノモ認ムルコ
トガ出來ルヤウニナリタノデアリマス、ソレカラ勾配ニ於キマ
シテハ四十分ノ一ヨリ急ナラザルコトヲ通例トシテ、如何ナル
場合ニ於テモ二十五分ノ一ヨリ急ナルコトヲ許サズ、斯ウ
云フコトヲ私設鐵道法ガ規定シテ居リマスガ、輕便鐵道法
ニ於キマシテハ、唯二十五分ノ一ヨリ急ナルコトヲ得ズト云
フ制限ガデアリマス、ソレカラ曲線ノ半徑ニ於キマシテハ、
私設鐵道法ハ十五鎖以上ト許シ得テ八鎖マデ縮少スルコ
トガ出來ル、云フ規定デゴザイマシタガ、輕便鐵道法ニ於キ
マシテハ、五鎖以上ト特別ノ場合ニハソレ以下ノ曲線ノ半徑
モ認ムルコトガ出來ルヤウニ規定シタルノデアリマス、軌道
ノ間隔ニ於キマシテモ、私設鐵道法ハ十一呎以上ト云フ制

限ガアリマシタガ、輕便鐵道法ニ於キマシテハ其制限ガナ
イデアリマス、軌道ノ負擔力ニ於キマシテモ、私設鐵道法ハ
一時間十噸以上ノ活重ニ耐ヘルコトモ要求イタシテ居ル
デアリマスガ、輕便鐵道法ニ於キマシテハ、斯ル制限ガナ
イデアリマシテ、實際車ノ重サニ依ッテ其負擔ニ耐ヘル軌
道ナラバ許シテ居ルノデアリマス、其他ノ點ニ付キマシテハ
總テ鐵道ノ共通ヲ一方ハ目的トシ、他方ハ一地方ノ運輸
交通ヲ目的トシテ居ルノデアリマスカラ、極メテ輕便式簡單
ナル設備デ差支ナイノデアリマス、ソレカラ運賃ニ於キマシ
テハ、私設鐵道法ハ一哩二錢ヲ越ユルコトヲ得ズト云フ制限
ガアリマスガ、輕便鐵道法ニ於キマシテハ、主務大臣ノ認可
ヲ得マスレバ制限ガナイノデアリマシテ、從テ實際ニ於キマ
シテ、二錢五厘、三錢、三錢五厘ト云フヤウナ貨率ガ認可
サレテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク鐵道ヲ敷設シマスルニ付
テ、輕便鐵道ノ方ガ遙ニ容易デアアル、法律上ノ要求ガ少
イノデアリマスカラ、同法發布以來民間ニ於ケル出願ハ總
輕便鐵道法ニ依ッテ出願ヲ致シテ參ゾノデアリマス、加之
明治四十四年ニ輕便鐵道補助法ガ制定サレマシテ輕便
鐵道法ニ依ッテ免許ヲセラレマシタモノハ、政府ニ於テ五
迄ノ利益ノ保證ヲ致シ居ルノデアリマス、然ルニ私設鐵道
法ニ依ッテ免許ヲ受ケマスルモノニ對シテハ保證ノ途モ立
テ居ラズノデアリマス、斯ノ如ク法律上ノ要求ガ大ナルモ
拘ラズソレニ對スル保證ガ少ク、輕便鐵道法ハ簡易主義デ
アルニ拘ラズ運賃ノ制限モナイ、利益ノ保證モスル、云フコ
トデアリマスカラ、其以後私設鐵道法ニ依ッテ免許ヲ出願
イタシマシタモノハ一ツモナイノデアリマシテ、總テ輕便鐵道
法ニ依ッテ免許ヲ致スコトニナリタノデアリマス、ソレデ輕便鐵
道ノ制定サレマシタ當時ニ於テ、私設鐵道法ニ依ッテ出來
マシタ會社ガ四十六存在シテ居リマシタ、然ルニ輕便鐵道
法ノ附則ニ於キマシテ、「本法施行前免許ヲ受ケタル鐵道
法ニ附則ニ於キマシテ、本法施行前免許ヲ受ケタル鐵道
法」ト云フ規定ヲ設ケマシテ、輕便鐵道ト指定スルコトヲ許
スコトニナリタノデアリマスカラ、四十六ノ私設鐵道會社ニ
於キマシテ明治四十三年、四十四年頃ニ輕便鐵道ト指定
サレマシタモノガ三十九デゴザイマス、四十五年ニ指定サ
レマシタモノガ一ツ、大正五年ニ指定サレマシタモノガ一ツ、大
正七年三月ニ指定サレマシタモノガ五ツ之ニ依ッテ全部輕
便鐵道ト指定サレマシテ、今日ニ於キマシテハ私設鐵道法
ノ適用ヲ受ケル會社ハ一ツモ存在シテ居ラズノデアリマス、

加之同法ニ依テ免許ノ出願ヲ致スモノモナイヤウナ次第
アリマスカラ、法律ハアリマシテモ其適用ヲ受ケルモノ、ナ
イ、實用ノナイ規定トナタノデアリマスカラ、之ヲ廢止イ
スコトハ當然ト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ輕便鐵道
法ハ時勢ノ要求ニ應ジマシテ簡易主義ヲ執ツタノデアリマシ
テ、之ニ依テ澤山ナ會社ガ出來タノデアリマスガ、此條文
ハ僅ニ七箇條デアリマシテ、其中ニ私設鐵道法ノ規定ヲ八
箇條進用イタシテ居ルノデアリマス、之ヲ合シテ十五箇條カ
ラ成テ居ルノデアリマス、然レドモ實際ニ於キマシテハ種々
ナル不備ガアルノデアリマス、之ヲ補ヒマスル爲ニ附屬
命令書ト云フモノヲ免許ノ際ニ下付イタシマシテ、其命令
書ノ中ニ種々ナル事項ヲ規定イタシテ居ルノデアリマス、然
ルニ命令書ノ性質ハ免許ニ付モノデアリマシテ、假令命
令書ヲ下付スルコト云フコトガ輕便鐵道法ニ認メラレテハ居
ルノデアリマス、然レドモ、其中ニ立法事項ヲ規定イタシマ
スカラ、此際輕便鐵道法ヲ改正スルニ付キマシテハ、命令書
ヲ矢張り改正スル必要ガアルノデアリマシテ、即チ命令書ノ
中ノ立法事項ヲ法律ニ引直シ、ノレカラ輕便鐵道法ノ中ニ
モ不備ノ點ガアルノデアリマス、合セテ之ヲ改正スル爲
ニ輕便鐵道法ヲ廢止スル必要ヲ認メタノデアリマス、サウ
シテ之ニ代リマスルノニ、地方鐵道法ト云フ法律ヲ制定ス
ルト云フコトノ考ヘデアリマスガ、地方鐵道法ト云フ名前ヲ設
ケマシタ所以ハ、國有鐵道法第一條ノ民間ニ於テ經營スル
モノハ一地方ノ鐵道ニ限ルト云フ趣旨カラ來タノデアリマ
シテ、即チ一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ニ限ラズ、民營
許スノデアリマス、其準據法ヲ地方鐵道法トシテ致スコト
ガ相當ト考ヘタノデアリマス、大體ニ於キマシテハ地方鐵道
法ハ輕便鐵道法及ヒ附屬ノ命令書ヲ基礎トシテ規定ヲ設
ケタノデアリマスガ、前申上ケマシタ如ク不備ヲ補ヒマス
爲ニ七ツノ點ニ付キマシテ從來ト異ナル規定ヲ設ケタノデ
アリマス、其規定ノ大體ヲ申上ゲマス、第一ハ動力ヲ
機械力ニ制限イタシタノデアリマス、デ現行輕便鐵道法ニ
於キマシテハ人力馬力ノ動力モ認メラレテ居リマス、斯
ノ如キモノハ寧ろ軌道條例ニ據ラセリノ至當デアリマシ
鐵道ノ如キ一時ニ多量ノ旅客貨物ヲ、高速度デ運搬イ
スコトヲ目的トスルモノアリマシテハ、其動力ハ電氣、蒸氣
力、若クハ瓦斯ノ力ニ依ルト云フコトニ致シマシテ、人力馬
力ヲ除クト云フコトハ是ハ最モ適當ノコトデナカト考ヘマ
シテ、動力ニ付テ制限ヲ設ケタノデアリマス、第二ハ軌間ノ問
題デアリマス、是ハ輕便鐵道法ニ於キマシテモ三呎六吋
ヲ原則ト致シマシテ、特別ノ場合ニハ其他ノ軌間ヲ許シテ居
ルノデアリマス、其許ス範圍ニ付キマシテ法律上ノ制限ガナ

イ、デアリマス、御手許ニ差上ゲマシタガ如キ二呎三呎ノ
如キ軌間ガ出來マシテ、是ガ爲ニ鐵道材料ノ共通上不便ガ
多イノデアリマス、之ヲ四呎八吋半、二呎六吋、此二ツノ
モノヲ認ムルコト、致シタノデアリマス、尤モ四呎八吋半ハ
ハ電氣ヲ動力トスルモノ用ヒルノデアリマシテ、現在存在シテ居
ルモノモ電氣ヲ動力トシテ居ル輕便鐵道デアリマス、第三
點ハ鐵道及ビ其附屬物件ヲ擔保トシテ金ヲ借りマシテ、現
行法ニ於キマシテハ主務大臣ノ認可ヲ受ケテ借リマシテ、車
ハ車ト別々ニ擔保ノ目的トスルコトヲ認メテ居ルノデアリマ
ス、然ルニ其債務ヲ履行セザル結果、債權者ガ車輛ノ差押
ヲスルコトカ「レール」ノ差押ヲスルコトカ、是ガ爲ニ鐵道ガ運
轉スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ結果ヲ來ス虞ガアルノデ
リマス、鐵道ノ公益機關タル性質ニ於キマシテ擔保ノ
方法ヲ制限スル必要ガアルノデアリマス、現ニ鐵道抵當法
ハ擔保ノ方法トシマシテ鐵道ヲ一ツノ物トシテ抵當權ノ設
定ヲ認メテ居ルノデアリマス、其方法ニ依ルノ鐵道ノ
性質ニ最モ適當シテ居ルモノト考ヘマシテ、之ヲ制限イ
タシタノデアリマス、第四點ハ會社ノ解散ニ付キマシテ、商
法ノ規定ニ例外ヲ設ケル趣旨デアリマシテ、御承知ノ如ク
解散ハ社員總會或ハ株主總會ノ決議ニ依テ商法上自由
ニ出來ルノデアリマス、其結果ハ主體ガナクナルノデアリ
マシテ、主體ガナクナレバ免許モ自カラ消滅スルノデアリ
マス、サウ致シマスト今マデ鐵道ヲ營業イタシテ居リマシ
タノガ、解散ノ決議アツタガ爲ニ、直チニ營業ガ出來ナクナル
コトヲ結果トシ生ズルノデアリマシテ、是ハ鐵道ノ如キ公益機
關ニ於テハ取締上甚ダ不十分ノ點ガアルト考ヘルノデアリ
マス、ソレデアリマス、スルカラ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ
得ナケレバ法律上ノ效力ヲ生ジナイ、斯ウ云フコトニ致シ
タノデアリマス、一方ニ鐵道會社ノ營業ヲ廢止イタスニ付テ
ハ、主務大臣ノ許可ヲ必要トシテ居ルノデアリマス、ス
ルカラ、其意味カラ申シマシテモ、解散ノ決議ニ付テ斯ウ云フ制限
ヲ設ケルト云フコトハ當然ノコト、考ヘタノデアリマス、殊
ニ三會社ガ悲境ニ陥リマシタ時ニ、其株ヲ買集メテサウシ
テ解散ノ決議ヲシテ「レール」車輛ヲ賣拂デ非常ニ利益ヲ
得タ、斯ウ云フヤウナ實際ノ事例モアツタノデアリマス、ス
ルカラ、政府ガ地方鐵道ニ並行又ハ接近シテ鐵道ヲ敷設シマシ
タ爲ニ、地方鐵道業者ガ營業ヲ繼續スルコトノ出來ナクナ
リマシタ場合ニハ、政府ニ於テ其營業ノ廢止ニ依テ生ズル損
害ノ補償ヲ爲ス、斯ウ云フ規定ヲ加ヘタノデアリマス、是
從來全ク規定ノナイ事項デアリマシテ、即チ民間ノ鐵道ノ
アリマス、區間ニ、政府ガ更ニ大ナル目的ヲ以テ鐵道ヲ敷

設イタシマスル際シテ、其民間ノ鐵道ヲ利用シ得ル場合
ニハ、之ヲ買收シテ利用スルコトハ當然デアリマシテ、又サ
ウ云フコトニ致シタ例モアルノデアリマス、私設輕便鐵道
ニ於キマシテハ、勾配曲線其他線路ノ關係ニ於キマシテ、國
有鐵道トシテハ、非常ニ不十分ノ點ガアルノデアリマス、カ
ラ、其鐵道ニ並行シテ、或ハ接近シテ敷設スルノ已ムナキ場
合ガ起ツタノデアリマス、是ガ爲ニ其輕便鐵道ハ、營業ヲ廢
止スルノ餘儀ナキニ至ルト云フコトハ當然デアリマス、之
ニ對シテ政府ニ於キマシテハ何等救済ノ途ガナク、タノデ
アリマス、一方ニ政府ガ輕便鐵道補助法ヲ設ケテ、鐵道ニ保
護ヲ加ヘテ其普及ヲ助成シテ居リマス、モ拘ラズ、他方
於テ其鐵道ヲ政府ノ鐵道ノ爲ニ自滅セシムルニ當テ、而カ
モ之ヲ救済スルノ途ガナク、云フコトハ、是ハ立法上ノ一ツ
ノ缺點デナカト考ヘマシテ、此際此規定ヲ加ヘルコトニ致
シタノデアリマス、其次ニ第六ノ點ハ行政上ノ事務ヲ簡捷
ニスルコト云フ趣旨カラ設ケマシタ規定デ、現在ノ官制ニ於
キマシテハ鐵道院總裁ガ私設鐵道輕便鐵道ノ監督權ヲ
有ツテ居ルモノ拘ラズ、輕便鐵道法、私設鐵道法ニ於キ
マシテハ、總テ主務大臣ノ監督ト致シテ居リマス、鐵道
院總裁ハ更ニ內閣總理大臣ノ決裁ヲ經マシテ監督權ヲ行
使スルノ已ムナキ狀態デアリマス、其事柄ノ中ニハ免許デ
アルトカ、其他重大ナル事項ガアリマス、ス、如キ事柄
ハ勿論主務大臣ノ名ニ於テスルノガ當然デアリマス、然
レドモ、極メテ簡易ナル事柄、例ヘテ申シマシレバ、時間表
ノ變更デアルトカ、中間停車場ノ新設デアルトカ、或ハソ
レニ依テ起ル運賃ノ變更デアルトカ、斯ノ如キ事柄ハ極メテ輕
微ナコトガ多イノデゴザイマス、其都度內閣總理大臣
ノ決裁ヲ得ルト云フコトハ、事務ノ上ニ於キマシテ多少ノ煩
雜ノ嫌ヒガアルノデアリマス、事務簡捷ノ趣意カラ、簡
易ナル事柄ハ監督官廳ニ於テ處理シ、重大ナル事柄ハ主務大
臣ニ於テ處理スル、斯ウ云フコトヲ法律ノ上デ明カニ致シ
マス、爲ニ、特ニ主務大臣監督官廳ト云フ言葉ヲ各本條
ニ使ヒ分ケテ致シタノデアリマス、ソレカラ第七ノ點ハ罰則
ニ關スル規定デアリマス、輕便鐵道法ニ於キマシテハ、總
テ簡易主義ニ依テ出來タモノデアリマス、罰則ノ如キ
モノ全ク其規定ガナイノデアリマス、私設鐵道法ニ於キマ
シテハ、種々ナル罰則ノ規定ガアツタノデアリマス、輕便鐵道
法實施以來十箇年ノ經驗ニ徴シテ見マス、種々ナル點
ニ於テ罰則ノ規定ノ無イト云フコトノ不便ヲ發見イタシ
タノデアリマス、此際罰則ノ規定ヲ追加イタシタノデアリ
マス、以上ガ私設鐵道法及ヒ輕便鐵道法ヲ廢止イタシマ
シテ、地方鐵道法ヲ制定イタシマシタ趣旨ノ大要デゴザイ
マス、其法律ノ改廢ニ付キマシテ、輕便鐵道補助法中改正ヲ

要スルモノガアリマス、鐵道抵當法中改正ヲ要スルモノガアリマス、鐵道船舶郵便法中改正ヲ要スルモノガアリマス、鐵道營業法中改正ヲ要スルモノガアリマス、鐵道營業法ニ於キマシテハ、地方鐵道法ニ關係ナク特ニ此際改正ヲ必要トスル事柄ガアルノデアリマス、此點ハ主務ノ政府委員カラ御話ヲ申上ケルコト、存ジマス、付キマシテハ鐵道抵當法ノ改正事項ニ付テ、合セテ唯今申上ゲタイト思フノデアリマス、鐵道抵當法ハ私設鐵道法ニ依テ免許ヲ受ケマシテ鐵道ノ抵當ニ關スル法律デアリマス、此外ニ軌道條例ニ依テ特許ヲ受ケマシテ、其規定ノ抵當ニ關スル法律、是ガ明治四十二年ノ法律トシテ別ニ出テ居リマス、ソレカラ、輕便鐵道法ニ依テ免許ヲ受ケマシテ鐵道ノ抵當ニ付キマシテハ、輕便鐵道法中ニ、今申上ゲマシテ鐵道ノ抵當ニ關スル法律ヲ準用イタシテ居ルノデアリマス、即チ輕便鐵道法第七條明治四十二年法律第二十八號輕便鐵道ノ抵當ニ之ヲ準用スル、ソレデ輕便鐵道法ヲ廢止シ私設鐵道法ヲ廢止イタシマスニ付テハ、地方鐵道法ニ依ル鐵道ノ抵當ニ付テモ規定ヲ設ケル必要ガアルノデアリマス、即チ鐵道抵當法ノ第一條ニ私設鐵道株式會社トアリマス、地方鐵道株式會社ト改メタルデアリマス、之ニ依テ鐵道抵當法ハ地方鐵道法ニ依テ免許ヲ受ケマシテ鐵道ノ抵當トスル法律デアルト云フ趣旨ガ明カニナラウト思フノデアリマス、尙ホ此際申上ゲマスル必要ガアリマス事柄ハ、私設鐵道法ニ於キマシテ株式會社ニ限テ免許ヲ與ヘテ居タルノデアリマス、株式會社以外ノ會社即チ合名會社合資會社、ソレカラ組合デアルトカ個人、公共團體、之ニ對シテハ免許ヲ與フル處置ハナカッタデアリマス、ソレデアリマスカラ鐵道抵當法ニ於キマシテ、株式會社ノ抵當ニ關スルコトノミヲ原則トシテ規定イタシテ、株式會社ニ非ザル鐵道ノ抵當ニ付キマシテハ、規定ガナカッタデアリマス、然ルニ輕便鐵道法ハ勿論ノコト軌道ニ於キマシテモ、株式會社以外ニ特許ヲ受ケルコトガ出來タルノデアリマス、隨テ明治四十二年法律第二十八號即チ軌道ノ抵當ニ關スル法律ノ第四條ニ於キマシテ、軌道營業者ガ株式會社ニ非ザル場合ニ於ケル軌道ノ抵當ニ關シテハ、勅令ノ定ムル所ニ依ル、其規定ハ勅令ニ依テ居ルノデアリマス、此趣旨ヲ鐵道抵當法ニ入レル必要ヲ認メタルデアリマス、ソレヲ地方鐵道法ニ入レマシテ、免許ヲ受ケル主體ヲ株式會社ニ限定イタシマセム結果、公共團體及ビ他ノ會社個人組合ノ鐵道ノ抵當ニ付テハ、ハドノ規定ニ依ルコト云フコトヲ明カニスル必要ガアルノデアリマス、二十六條ノ二ニ「株式會社ニ非サル地方鐵道業者ノ鐵道ノ抵當ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル」ト此規定ヲ入レタルデアリマス、其他各條ノコトニ付キマシテハ更

ニ別ニ申上ゲタガ方便宜カト考ヘマスカラ、唯今ハ極ク大體ノコトヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、即チ第三條以下種々ナル改正ガアリマスルガ、是ハ要スルニ私設鐵道法ニ依リマシテ鐵道ガ、地方鐵道法ニ依リマシテ鐵道ニ改メル結果、起ル所ノ事柄ガ多イノデゴザイマス、内容ニ於キマシテ變リマシタ點ガ、二點程アリマスルケレドモ、大體ハ條文ノ整理ニ外ナラヌノデゴザイマス、逐條ニ付テ更ニ御説明ヲ申上ゲタガ方便宜カト思フノデアリマス

リマスカラ、寄託ト云フ簡便ナ方ニ致シタルデアリマス、サウシテ倉庫證券ヲ作テ貰ヘバ、其證券ノ交付ヲ以テ貨物ノ引渡シニ代ヘルト云フコトニ致シタルデゴザイマス、今ノハ引渡シニ關スル事柄デアリマス、此荷主ニ一旦引渡シヨシテ、サウシテ荷主ノ方デマダ其荷物ヲ引取りニ來ナイ、停車場ヘ置キ放シニシテ居ルト云フ場合ニモ、矢張り今申上ゲルヤウニ規定ヲ準用イタシマシテ、矢張り引取りヲ強制スルト云フコトヲ致シタイト云フ考デ、此二箇條ヲ改正シ、若クハ追加イタシタ次第デゴザイマス

○政府委員(中川正左君) 私ハ營業法ノ改正ノ要點ヲ少シク御説明ヲ致シタイト思ヒマス、先日本會議ニ於キマシテ鐵道院總裁ヨリ一應ノ御説明ガアリマシタガ、尙ホソレニ蛇足ヲ加ヘマスル次第デアリマス、現在ノ營業法ノ第三條ニ、運賃ノ増加及運送取扱條件ノ變更ノ規定ガゴザイマシテ、關係停車場ニ二週間以上廣告スルト云フコトニナッテ居リマス、今度ハ之ヲ改正イタシマシテ、運賃其他運送契約ノ内容ヲナス所ノ條件ハ停車場ニ總テ公告ヲシナケレバ、之ヲ實施出來ナイ、一旦公告ヲシタ後ニ初テ實行スルト云フコトニ致シマシテ、人ノ知ラザル間ニ秘密ノ間ニ運賃ノ割引ヲスルトカ、其他ノコトノ出來ナイヤウニ總テ公表ヲスルト云フコトニ致シマシテ、尙又運賃ノ値上ゲヲ致シマス、或ハ運送條件ヲ加重シテ今マデ無料デ倉入ヲシテ居タルノ、今度ハ有料ニスルト云フヤウナコトヲ致シマス時ハ、大變荷主ナリ公衆ニ不便ヲ來シ、又取引ノ安全ヲ破ルコトナリマス、今度ハ二週間ト云フコトヲ改メテ一箇月以上公告スルコトニ致シマシタノデゴザイマス、又十三條ノ三ト云フモノヲ新ニ設ケマシテ此方ハ鐵道ガ荷物ヲ運ビマシテ、其引渡シノコトニ關スル規定デアリマス、唯今現在ノ實例ヲ以テ申上ゲマス、東北方面ヨリ秋葉原ニ出マス、今日ノ處運送屋ノ引取ガ無イ爲ニ、倉ガ一杯デアルト云テ、引取ガ無イ爲ニ貨車ガ空シクアス、停滯シテ居ル次第デゴザイマス、ソレデ幾ラ運送屋ニ言ヒマシテモ、引取テ呉レナイ、唯ソレニ依テ保管料ヲ取ルト云フヤウナコトニナルノデアリマス、ソレバ今度ハ此規定ニ依リマシテ、鐵道ニ過失ノ無イ原因ニ依テ、空シク貨車ノ遊ブヤウナコトノ無イヤウニ、引渡シヲ滑カニスル爲ニ、此十三條ノ三ヲ設ケタルデアリマス、即チ荷主ノ費用ニ於テ其荷物ヲ直ニ倉庫業者ニ引渡シヨシマシテ、ソレデ以テ此貨車ヲ明ケル、或ハ十三條ノ置場ヲ明ケルト云フコトニ致シタイト云フ考ナノデゴザイマス、之ヲ又「寄託ト致シマシタルノ、舊法ニハ供託トナッテ居ルノモアリマスヤウデアリマス、鐵道ノ全線ニ於テ此供託倉庫ト云フヤウナモノガ一々設ケラレルト云フコトハ、甚ダ手續上困難ナコトデアリマス、又到處ニ斯ウ云フ問題ガ起ルノデア

○政府委員(佐竹三吾君) 尙ホ申上ゲタイト思ッテ居リマス、ハ衆議院ニ於キマスル修正ノコトデアリマス、衆議院ニ於キマシテハ第三十條ニ一項ヲ加ヘタル、第三十四條ノ規定ヲ新ニ設ケタルデアリマス、其修正ノ要旨ハ、一ハ政府ニ於キマシテ地方鐵道ノ一部ヲ買收スル必要ヲ認メマシテ、之ヲ買收イタシマシタ結果、其殘デ居リマスル部分ダゲハ營業ガ出來ナイ、斯ウ云ウヤウナ場合ニ政府ハドウスル考デアルコト云フ質問ガアッタデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ、行政ノ取扱上全部ノ鐵道ヲ買收スル考デアルト云フコトヲ申シタルデアリマス、然ラバ其意味ヲ條文ニ明カニシテ、サウシテ行政上ノ取扱ニ委シタガ方宜クハナイコト云フ意見ガ出マシテ、ソレデ三十條ニ一項ヲ加ヘ「地方鐵道ノ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付キ營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ到リタルトキハ地方鐵道業者ハ該線路及其附屬物件ノ買收ヲ申請スルコトヲ得、即チ買上ゲノ申請ヲ會社ノ方カラ致スコトヲ認メタルデアリマス、他ノ點ハ兼業ノ買收ニ關スル事柄デアリマス、鐵道ニ依リマシテハ種々ナル兼業ヲ有テ居ルノデアリマス、其兼業ノ中デハ鐵道ニ必要ナルモノガアリマシテ、ナゼト申シマス、ハ倉庫業デアルトカ、或ハ「ホテル」業デアルトカ、或ハ「ドック」デアルトカ、斯ウ云フ兼業ヲ有テ居リマスル鐵道ガ、鐵道ダゲ買收サレマシテ兼業ガ殘ルコトナリマス、會社ハ非常ニ不利益ヲ蒙ルノデアリマス、其會社ノ不利益ハ免ニ角ト致シマシテモ、其兼業ガ鐵道ニ必要デアル、政府ニ於テハ之ヲ用ヒルコトガ出來ル、斯ウ云フ場合ニハ兼業ヲドウスルコト云フ質問ガアッタデアリマス、政府ニ於キマシテハ其場合ニハ適當ナ方法ヲ講ジテ、兼業ノ買收ヲ計ル積リデアル、併シ鐵道法デアリマスカラ、地方鐵道法ノ中ニ兼業ノコトモ規定スル必要ハナイヤウニ思ッタルデアリマス、レドモ、之ヲ規定ニ入レマシテモ、政府ノ方ニ於テ買收スルコトガ出來ルト云フコトノ意味ヲ表ハス規定デアリマス、レバ、何等差支ナイノデアリマス、其修正ニ同意ヲ致シマシタルデアリマス

○委員長(侯爵細川護立君) 唯今全體ノ御説明ガアリ

マシタガ、此御質問ハ都合ニ依リマシテ、地方鐵道法案カ
ラ順次ニ別々ニ致シタイト思ヒマスガ、ソレデ御異議ハアリ
マセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○小松謙次郎君 極大體ノ點ニ付テ、或ハ直接ニ關係ガ
無イカモ知レナイノデアリマスガ、一二御尋ネヨシテ置キタ
イノデアリマスガ、是ハ能ク私ニハ關係ガ分ラヌノデ、ソレガ
爲ニ詰ラヌ質問ガアルカモ知レマセヌガ、此鐵道國有法ノ
出來マシタ當時ニ、是ハ國有鐵道ノ營業其他ニ關スル原則
ヲ之デオキメニナルト云フコトナシニ、詰リ言フテ見ルト、原則
ハ買収ダケノ關係ガ規定サレタヤウニ思フノデアリマスガ、
其當時此鐵道敷設法ノ第三章ニ私設鐵道ノ處分ト云フ
モノガ規定ガアリマスノデ、ソレハ廢サレタノデアリマス
カ、或ハ其儘唯重複シテ居ルヤウナコトニナデ居ルノデアリ
マスガ、法律ノ關係ダケヲチヨット伺フテ置キマス

○政府委員（佐竹三吾君） 御尋ネノ鐵道敷設法ノ第三
章私設鐵道ノ處分ノ規定ハ現ニ存在シテ居ルノデアリマ
ス、併ナガラ其第十四條ニ「豫定線路中未ダ敷設ニ著手セ
サルモノニシテ若私設鐵道會社ヨリ敷設ノ許可ヲ願出ル
者アルトキハ帝國議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ許可スルコトアル
ヘシ」ト云フ規定ガアリマスガ、此規定ニ依テ今マデ豫定
線ノ中デ私設鐵道會社ニ許シマス際ニハ、一々法律ヲ出シ
タノデアリマス、法律ヲ出シタノデアリマスガ、此法律ヲ出
スト云フコトニ付テノ解釋デスナ、解釋ハ是ハ人ニ依テ色々
意見モ違フカモ知レマセヌガ、許可ノ處分ヲ帝國議會ノ協
賛ヲ經ルト云フ意味デハナイ、帝國議會ト云フモノハ行政
處分ニ立入ルモノデハナクシテ、豫算ヲ議スルコトカ法律案ヲ
議スルコトカ云フコトデアアルカラシテ、斯ウ云フ處分ニ付テ議
會ノ協賛ヲ求メルト云フモノ、如ク見エルトモ、是ハ法
律ニ依テ豫定線カラ之ヲ落スノデアル、斯ウ云フヤウナ趣旨
ニ解釋サレテ居ルヤウデゴザイマス、私設鐵道法ガ無クナリ
マスルト、私設鐵道會社ト云フモノモ自然ニ消滅シテ、此
第三章ニ當リマスモノハ、自然ニ適用ヲ失フコトニナルト
考ヘテ居ルノデアリマス、其代リニ此私設鐵道ノ處分ニ當
ルベキ實質デスナ、實質ハドウカト云ヒマスルト、地方鐵道
法ニ於キマシテモ、地方鐵道法ノ免許ヲ受ケマシタ鐵道ガ
偶、豫定線ニ當ッタ、豫定線ト云フモノハ後トカラ追加サレ
ルノモ澤山アルノデアリマスガ、其結果豫定線ノ徑路ニ合
致シタト斯ウ云フ場合ニハ、其地方鐵道ヲ買収スルコトニ
ナリマスルシ、ソレカラ買収ノ出來マセヌ時ニ、前ニ申上ゲマ
シタ如ク第三十六條ニ依テ營業ノ補償ヲスル、斯ウ云フコ
トニナルノデアリマスガ、此第三章ノ規定ノ適用ハ自カラ

無クナリマスルケレドモ、此規定ガ目的トシテ居ル、或ハ豫
想シテ居ル、私設鐵道ノ保護ト言ヒマスガ、ソレハ地方鐵
道法ニ依リマシテモ之ヲ達スルコトガ出來ル積リデアリマ
スカ、實際ニ於テハ是ガ適用ヲ失ヒマシテモ何等差支ナイ
ト考ヘテ居リマス

○小松謙次郎君 唯今ノ御説明ニ依リマス、三章自體
ハ別段ニ廢止スルノデハナイガ、其主體タル私設鐵道ナル
モノガ無クナルカラ、此適用ト云フモノガ全ク無クナル、斯ウ
云フ御説明ノヤウデアリマスガ、左様デゴザイマス

○政府委員（佐竹三吾君） 左様デゴザイマス

○小松謙次郎君 目下私設鐵道トシテ存在シテ居ルモノ
ガアリマスガ、先程何カ輕便ニ御指定ニナッタト云フヤウナ
御説明モアッタヤウデアリマスガ、尙ホ私設鐵道トシテ殘ッテ
居ルモノガアリマスデアリマスガ、無イノデアリマスガ

○政府委員（佐竹三吾君） 唯今ハ私設鐵道法ニ依リマ
シタ私設鐵道會社ト云フモノハ全ク存在イタシテ居ラヌ
デゴザイマス、先程申シマシタ如ク私設鐵道法ニ依テ免許
ヲ受ケマシタモノガ鐵道國有法ノ際ニ四十六條殘ッテ居リマ
シタガ、其四十六ノ中デ大部分ハ四十二年、四十四年ニ
指定サレマシテ、即チ三十九指定サレマシタ、ソレカラ四十
五年ニ指定サレマシタモノガ是ガ中國鐵道デゴザイマス、ソ
レカラ大正五年ニ指定サレマシタモノガ一ツアリマスガ、中
越鐵道、大正七年ニ指定サレマシタモノガ五ツアリマシ
テ、ソレハ成田鐵道、南海鐵道、博多灣鐵道、東上鐵道、東
武鐵道、此五ツノ指定ニ依リマシテ、私設鐵道會社ト云フ
モノガ全ク其跡ヲ絶ツニ至ッタノデアリマス

○小松謙次郎君 私設鐵道ト云ヒ輕便鐵道ト云ヒ、其
何レヲ問ハズ實際ノ御取扱ノ上ニ於テ、國有鐵道ニスベキ
一般運送ノ用ニ供スル鐵道ト、地方ノ交通ヲ目的トスル鐵
道ト云フモノ、差別ハドウ云フ點ニ御付ケニナッテ居ルノデ
アリマセウカ、尙ホ其質問ノ趣旨ヲ明カニ致ス爲ニ、多少ノ
例ヲ以テ伺フテ見タイト思フノデアリマスガ、例ヘバ鐵道敷
設法ニ於テ豫定線トシテ又豫定線中ノ比較線トシテア
タ線路デアリマシタ、此一方ガ採用サレタ場合ニ、他ノ一方
ハ豫定線中ヨリハ削除サレタノデアリマスケレドモ、豫定線
ニシヤウトハナイノデアリマスガ、若シサウ云フ事例ガアルト
ヤウナ事例ハナイノデアリマスガ、若シサウ云フ事例ガアルト
スルト、一般運送ノ用ニ供スル鐵道ト云フモノト、地方ノ交
通ヲ目的トスルト云フモノ、差別ハ、殆ドナルナルヤウニ思
フノデアリマス、唯僅カニ建設規定其他ノ規定ニ依リマシ
テ、輕便ナル方法ヲ執ルト云フダケニ過ぎヌノデアリマシテ、
鐵道其モノ、性質ニ付テハ一旦豫定線ノ比較線ニ載ル位
ナ線路デアリマスガ、一般運送ノ用ニ供スル鐵道ト見ル

ベキモノデハナイカ、又サウ云フ線路ニ當ルモノハ後日一般
國有ノモノトシテ許サル、ノハ免ニ角、一時タリトモ地方ノ
モノトシテ許サレト云フコトハ、不都合ナコトデハナイカ、
其邊ノ取扱ノ上ニ於テノ政府ノ御意見ヲ...

○政府委員（佐竹三吾君） 政府ハ...唯今質問ニナリマ
シタノハ、豫定線ノ中デ私設ニ許シタモノガアルコト云フ御
尋ネデアリマスガ、是ハ澤山アルノデアリマス、現ニ小牛
田ヨリ石巻ニ至ル區間ハ、橫斷線トシテ豫定線デアリマス、
之ヲ仙北輕便鐵道會社ニ許可イタシタノデアリマス、ソレカ
ラ豫定線ノ中央線ノ中デ、山梨縣下甲府ヨリ、静岡縣下
岩淵ニ至ル鐵道、是ハ豫定線デアリマスガ、輕便鐵道ニ
今度ナッテ居リマス、ソレカラ陰陽連絡線ノ中デ、廣島縣下
廣島ヨリ島根縣下濱田ニ至ル鐵道ト云フノデアリマスガ、
之ニ適切ニ該當スルカドウカ多少ノ解釋上ノ餘地ガアリマ
スルケレドモ、廣島三次間ノ輕便鐵道ハ、是ハ豫定線ノ一
部デアルト云フテ差支ナイカト思フノデアリマス、其他豫定
線ニ當リマスル區間ニ、私設鐵道又ハ輕便鐵道ヲ許可イタ
シマシタ場合ハアルノデアリマスガ、行政上ノ取扱ト致シ
マシテハ、私設鐵道法ニ依ル鐵道ヲ許ス場合ニハ、法律ノ
除外例ヲ設ケル、法律ヲ以テ其區間ノ私設ヲ許スト云フコ
トヲ議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラナイ、鐵道敷設法ノ第十
四條ニアル規定デアリマス、ソレカラ輕便鐵道法ニ依リマス
ル鐵道ハ、誠ニ解釋上疑ガアリマスルケレドモ、是ハ普通ノ
鐵道デハナイ、輕便式ノ鐵道デアアル從ッテ鐵道敷設法ノ所
謂鐵道デハナイ、サウ云フ趣旨カラシテ輕便鐵道ヲ許シマス
ル時ニハ、法律上ノ除外例ヲ設ケタノデアリマス、譬ヲ申シ
マスレバ松山西條間輕便鐵道、是ハ政府ノ豫定線デアリ
マスガ、其區間ニ豫讀鐵道ト云フ輕便會社ニ免許ヲ與ヘ
タノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、輕便鐵道ハ鐵道デナ
イト云フ解釋ヲ採ッテ、サウシテ敷設法ニ所謂鐵道デナイト
云フ解釋ヲ採ッテ、法律上ノ除外例ヲ設ケタノデアリマス、ソ
レカラ第二ノ御質問ノ一般運送ノ用ニ供スル鐵道ト、一
地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道トノ區別如何ト云フ御尋ネ
ヤウニ拜承イタシマスガ、是ハ判然トハ區別ヲ立テルコト
ガ困難デアラウト思フノデアリマス、殊ニ經濟關係ノ變リマ
シタ結果、從來ハ一地方ノ鐵道ニ止マリマシタモノカ、幹線
鐵道ニナルト云フヤウナ場合モアルノデアリマス、譬ヘテ申シ
マスレバ中國鐵道、是ハ岡山山ヨリ津山ニ至ル輕便鐵道デア
リマスガ、政府ニ於キマシテハ山陰線ノ方面カラ、即チ鳥
取カラ智頭マデ輕便鐵道ヲ現ニ工事中デアリマス、更ニ今
年ノ豫算ニ於キマシテ智頭津山ノ輕便線ガ追加ニナッタノ
デアリマスガ、其ノ結果ハ鳥取岡山間ト云フモノハ山陰山
陽ヲ連絡イタシマスル是ガ幹線ニナルト思フノデアリマスル

カラ、一地方ノ交通ヲ目的トスルモノトハ認メラレヌト思フ
ノデアリマス、斯ノ如キコトハ免許ノ當時ニ於テハ一地方ノ
鐵道ト認メテ居リマシタケレドモ、其後ノ經濟上ノ變動ニ
依リマシテ、幹線トモナルノデアリマスカラ、判然トシテサウ
シテ終始變ラナイト云フ斯ウ云フ區別ノ標準ハ、頗ル困難
カト考ヘテ居リマス

○小松謙次郎君 尙ホモウ一ツ序ニ伺フテ置キタイノハ、
唯今御説明中ニ、鐵道國有ノ際ニ殘テ居タ所ノ私設鐵
道ガ四十餘リアリテ、ソレヲ順次輕便鐵道ニ指定シテ唯
今デハ私設鐵道ガ一ツモナイト云フ御説明ノヤウデアリマ
シタガ、此私設鐵道ヲ輕便鐵道ニ指定スルト云フノハドウ
云フ權能ニ依テ御指定ニナル譯デアリマス、唯今說明ニ
依リマス、輕便鐵道ナルモノハ所謂鐵道ニ非ズトシテ御
處理ニナルト云フ御話ノヤウデアアル、所ガ免ニ角私設鐵道
法ニ基キタ私設鐵道ヲ、輕便鐵道ニ單ニ指定スルト云フコ
トハ、如何ナル法律ニ基キテ御ヤリニナッタデアリマス、カ
○政府委員(佐竹三吾君) 其點ハ先程御説明申上デヤ
ウト思フテ居リマシタガ、輕便鐵道法ノ附則ニ本法施行前免
許又ハ特許ヲ受ケタル鐵道ニシテ將來本法ニ依ラシムベキ
モノハ主務大臣之ヲ指定スルト云フ規定ガアリマシテ、其規
定ニ依テ主務大臣ハ輕便鐵道ニ指定ヲ致シタルデアリマ
ス、此規定ノ設ケラレマシテ趣旨ハ、先程申上デマシタル
如ク、私設鐵道法ニ依リマシテ私設鐵道ノ中ニモ、純然タル
一地方ノ交通ヲ目的トスルモノト、ソレカラ幹線鐵道ニナ
ルベキモノト一通リアッタデアリマス、ソレデ四十三年前
ニ於キマシテハ、私設鐵道法ト云フ法律ガ一ツアッタケデ
アリマスカラ、如何ナル鐵道ニ於キマシテモ皆私設鐵道法
ニ依リマシテ免許ヲ受ケテ居タデアリマス、譬ヲ申シマス
レバ魚沼鐵道株式會社、是ハ來迎寺ト白河トノ間デアリマ
シテ八哩十五鎮ノ區間デアリマス、ソレデ軌間ハ二哩六吋
デアリマス、斯ノ如キモノモ從來ハ私設鐵道法ニ依テ出來
タ私設鐵道會社デアッタデアリマス、ソレカラ阿波鐵道汽
船株式會社、是ハ德島小松島間、延長ハ七哩三十五鎮デ
アリマス、此軌間ハ三哩六吋デアリマス、極メテ小區間ノ
鐵道デアリマス、ソレカラ多摩鐵道株式會社、是ハ堺、是
政ノ間デアリマシテ五哩十一鎮デアリマス、斯ノ如キ小鐵
道ハ元々一地方ノ交通ヲ目的トスルノデアリマスカラ、官線
ノ鐵道ト區別スル必要ハアッタデアリマスカレドモ、法律ニ
其規定ガナカッタデアリマスカラ、已ムヲ得ズ私設鐵道法
ニ據テ免許ヲ受ケテ居タデアリマス、サウ云フモノハ輕
便鐵道法ガ出來マシタ際ニハ、輕便鐵道法ニ據ラシムルト
云フコトニスルガ、亦此法律ヲ作タ趣旨デアリマスカラ、ソ
レヲ此附則ニ於テ指定スルコトヲ認メタデアリマス、而カ

モ其指定ハ會社ノ希望ヲ參酌スルコトハ勿論デアリマスケ
レドモ、會社ノ申請ニ依リニ非ズシテ、主務大臣ニ於テ本
法ニ據ラシムベキモノト認メタモノニ、主務大臣ガ之ヲ指定
スルノデアリマスカラ、行政上ノ處分トシテ指定ノ方法ヲ設
ケタデアリマス

○小松謙次郎君 唯今ノ御説明ニ依テ、據ルベキ法條ハ
分リマシタガ、輕便鐵道法ヲ設ケラレル當時ニテハ、總テ
現存シテ居ル私設鐵道ヲ、悉ク輕便鐵道ニ引直スト云フ
御見込デアッタヤウニハ思ハレナイノデアリマス、其中ニ據
ルベキモノハ指定スルガ、據リ難キモノハ指定セスト云フコト
ガ必ズ其裏面ニ付イテ居ルコトデ、殊ニ法文ノ體裁カラ
見マシテモ、或ハ鐵道國有ノ當時ニアツテ、尙ホ買収ヲ必要
トシタモノモ必ズシモナイ譯デアリマス、全部ノ私設
鐵道ヲ悉ク輕便鐵道ニ御引直シナツテ、サウシテ私設鐵
道ノ適用ヲ受ケベキモノハ一ツモナクナツタト云フ御説明ハ、
隨分指定權ト云フモノハ餘リ激シクハナカッタデアリマ
カト思ハレノデアリマス、殊ニ敷設法ニ於テ比較線ニモナ
テ居ルヤウナ線路ノ、假令一部分デアリニシテモ、サウ云フモ
ノヲ輕便鐵道ニ許シテ、サウシテ今日ニ至ツテハ之ガ段々延
シモシタイ、終ニハ買収デモシナケレバナラヌト云フマデニナ
テ來テ、サウシテサウ云フ時ニ至ツテ事實ハアルカナイカハ存
ジメセヌガ、輕便鐵道デアリマスニ二哩七吋ヲ許シテ、併シ段
段延バシテハ三哩六吋ト云フ普通ノ軌道ニ直サナケレバ
ナラヌト云フヤウナ結果モ起ラナイハ限ラナイ譯デアリマ
ス、輕便鐵道ニスルトカ、私設鐵道ニスルトカ云フ事柄ハ
殆下主務大臣ノ勝手ニ御定メニナルコトノヤウデ、國有鐵
道ニスベキモノト、私設鐵道ニスベキモノト分界ガ立タナイ、
主務大臣ノ其時ニモ思付デアリ御許シニナルト云フコトハ、全
ク標準ノナイ行政ノ執リ方ノヤウニ思ハレノデアリマス、
其點ニ付テ今迄ノ御取扱デ何處ノ何ガ多少ノ御標準デ
モアルノデアリマスカ、ソレヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(佐竹三吾君) 鐵道國有法ヲ政府ニ於テ提
出シタ際ニハ、三十二ノ私設鐵道ノ會社ヲ買収スルト云フ
案デアッタデアリマス、是ハ御承知ノコト、思ヒマス、其
中デ十七會社ダケ殘シマシテ、アトノ十五會社ハ帝國議會
ニ於テ削除サレタヤウニ心得テ居リマス、ソレデアリマスカ
政府ノ見ル所ニ於キマシテハ、其殘テ居リマス十五ノ鐵道
モ國有ニスベキモノデアルト云フ考ヲ、當時ハ有ツテ居タラ
ウト思ヒマス、然ルニ議會ニ於テ之ヲ削除サレマシタト云フ
趣旨ハ、即チ國有トスベキモノデアナイ、何故國有ニスベキモ
ノデアナイカト云フト、第一條ノ但書ニ該當シテ、一地方ノ交
通ヲ目的トスルモノデアルカラ國有トスベキモノデアナイ、斯ウ

云フコトヲ帝國議會ニ於テ其當時解釋シテ居タコト、思ヒ
マス、政府ガソレヲ同意シタ事情ハ、即チ買収ニ漏レマシタ
十七會社以外ハ一地方ノ交通ヲ目的トスルモノデアアル、斯
ウ云フノガ理論上當然デアラウト思ヒマス、然ラバ何故其
際ニ私設鐵道法ヲ改正シナカッタデアアルカ、私設鐵道法ノ
精神ノ一般ヲソレニ依テ失タナカッタデアアル、其國有法ノ制定
ト同時ニ輕便鐵道或ハ其他ノ法律モ何故改正シナカッタ
ト云フ疑デアリマス、是ハ既ニ過去コトデアゴザイマス、カ
ラ、今日ニ於テハ批評ヲスルダケデアリマス、當局ニ於テ考
ヘテ居リマスノハ、國有ノ方ニ漏レマシタモノハ、即チ政府並
ニ議會ニ於テ一地方ノ交通ヲ目的トスルモノト認メタト云
フ、斯ウ云フ解釋ヲ取ツタデアリマス、ソレカラ輕便鐵道ノ
附則ノ指定權、是ハ御話ノ如ク極メテ重大ナル權力デアリ
マス、此規定ノ解釋ニ付テモ亦色々批評ガアルダラウト思
ヒマス、ソレハ恐ラク附則ト云フモノハ法律施行後數年ヲ經マシ
テ、即チ四十三以後十年モ經マシテ尙ホ此附則ニ依ツテ
指定スルト云フコトハ甚ダ不穩當デアリカト云フ御議論モ
アルト思ヒマス、是ハ解釋上多少ノ疑ハアルカモ知レマセヌ
ガ、免ニ角政府ニ於キマシテハ四十四年ニ一度、ソレカラ大
正五年ニ一度、大正七年ニ一度、三回此附則ニ依ツテ指
定ヲ致シタルデアリマス、附キマシテ最後ノ即チ昨年三月指
定イタシマシタコトニ付テ一應其事情ヲ申上グル必要ガア
ルト思ヒマス、私設鐵道法ニハ一哩二錢ヲ超エルトハ
出來ナイト云フ最高限ガ定メタデアリマス、然ルニ輕便鐵道
法ニ據テ賃銀ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルダケ最高限ハ
定メタナイノデアリマスカラ、輕便鐵道ノ方ハ三錢四錢ノ賃
銀ヲ取ル、私設鐵道法ハ二錢以上取ルコトハ出來ナイト云
フヤウナ不權衡ノ結果ヲ生ジテ來タデアリマス、此賃銀ノ
二錢ノ制限ガ出來マシタノハ是ハ鐵道ガ非常ニ長ク、從ツテ
收入ガ多イト云フ事カラ賃率ノ制限ヲシテ二錢ト云フコト
ニナッタデアリマス、小サナ三哩五哩ノ鐵道ニ於キマシ
テ、賃率ノ二錢ト云フコトハ逆モ經營ガ困難デアリマス、ソ
レデアリマスカラ輕便鐵道法ハ此賃銀ニ付テハ制限ヲ設ケ
ナカッタ、唯、行政處分ニ委ネタデアリマス、十五ノ會社
ガ戰後石炭ノ暴騰、勞銀其他材料ノ騰貴ニ依ツテ、到底二
錢ノ賃率デ維持スルコトハ出來ヌカラ、其二錢ノ賃率ヲ變更
シテ、即チ法律ヲ改正シテ賃率ヲ高メルカ、或ハ輕便ニ指
定シテサウシテ輕便鐵道法ノ適用ヲ受ケルカ、斯ウ云フ立
場ニナッタデアリマス、ソレデ會社ノ方ノ希望ニ依リマシテ
輕便鐵道ノ指定ヲ致シタルデアアルガ、私設鐵道法ヲ改正ス
ルノ議ハ固ヨリ前カラアッタデアリマスカレドモ、唯單ニ
賃率ダケヲ變更スルト云フヤウナ姑息ナ方法ハ、其當時ニ

於到底認メルコトが出来ナカッタノデアリマス、ソレカラ又
附則ノ解釋ニ付テモ、多少ノ疑義アリマス、モ、免ニ
角明治四十五年、大正五年、即チ法律實施後數年ヲ經テ
指定ヲ致シタ實例ガアルデアリマス、其例ニ依リマシ
テ昨年ノ三月二十五ノ會社ヲ指定イタシタノデアリマス、此
五ツノ會社ハ何レモ三四十哩以上ノ線路ヲ有シテ居リマシ
テ、一地方ノ交通ヲ目的トスルモノト認メラレヌモ、モアル
カモ知レヌノデアリマス、モ、免モ角其性質ハ既ニ鐵道
國有法ノ時ニ定メラレタモノト、行政上當局ニ於テハ考ヘ
テ居ルノデアリマス、其解釋ト、ソレカラシテ附則ノ適用
ト云フコトニ依リテ指定イタシタノデアリマス、指定スル
ト云フコトハ決シテ會社ノ意思ニ反スル行政法ヲ用井タト
云フ譯デハナイノデアリマス

○小松謙次郎君 モウ一ツダケ確メテ置キマス、國有デ十
幾ツトカ省カレタト云フコトハ、是ハ承知シテ居ルコトデアリ
マス、輕便鐵道法ハ確カ明治四十三年カニ出來タノデナ
イカト思フ、而シテ國有法ハ三十九年デアル、其國有法ノ
後ニ殘リテ居ルモノハ、私設鐵道法ニ對シテ輕便鐵道法ガ
出來タ、ソレデ私設鐵道法ヲ輕便鐵道法ト改メタノナラ免
ニ角モデアリマス、輕便鐵道法ニ依ルコトニ私設鐵
道ガアルト云フコトヲ認メテ居ル、是ハ附則ノ書方ヲ以テ見
テモ分ッテ居ル、即チ一地方ノ交通ヲ目的トスルモノデア
ルカトシテ、鐵道國有法ノ際ニ削除サレタモノデアッテ、尙ホ
私設鐵道法ノ規定ニ依ラシメナケレバナラヌト認メテ、相當
ノ哩數ヲ持ッテ鐵道ガアルコトヲ認メテ、サウシテ此輕便鐵
道法ガ出來タノデゴザイマス、地方鐵道デアッテ、悉ク輕
便鐵道ニ指定シテモ宜シト認メテ、此附則ガ出來タモノ
トハドウシテモ思ハレヌ、本法施行前免許ハ特許ヲ受ケ
タル鐵道、又ハ軌道ハ將來本法ニ依ラシムベキモノハ、主務
大臣之ヲ指定スルモノデアリマス、若シ私設鐵道全
部ヲ指定スルモノデアラナラバ、斯ウ云フ書方デハナササ
ニ思フ、サウスル輕便鐵道法ガ出來タ目的ニ反シテ、此全
部ヲ御指定ニナッタノデアリカト思フヤウニ考ヘラレノデ
唯今ノ地方鐵道アルカラ國有ニハセヌト云フヤウニ、議會
デ修正ヲ受ケタト云フ理由ハ、輕便鐵道法ノ規定ニハ適用
ハ出來ナイデハナイカト思フ、是ハ四十二年ニ出來タ法律
デ以テ、サウ云フモノガ規定サレテ、今ノ議會デ削除シタ後
ニ出來タ法律デアッテ、若シ貴方ノ御論ノ通りデアラナラバ、
斯ウ云フ書方ハナイサト思フ、併シソレハ御處分ノ實際
ト議論トノ問題デアリマス、此問題ハ是デ止メテ、私ハ
他ノ問題ヲ伺ヒタイト思ヒマス、外ノ方モアリスカラ、
○河村讓三郎君 本員ハマダ此案ヲ能ク見テ居リマセ
ヌノデ、マダ要領ヲ得ナイ質問スルカモ知レマセヌ、チヨ

ト一點ダケ伺ッテ置キマス、此免許ニ屬スル權利義務ト
云フガ全般ニ互ッテアリマス、此免許ニ屬スル權利義務ト
云フモノ、性質ハ如何ナモノデアリマス、カ、何デ置キタイ
是ハ財產權ト見ルコトガ出來ルノデアリマセウカ、或ハサウ
見ラレヌモノデアリマス、其點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(佐竹三吾君) 免許ニ屬スル權利義務ト
言ヒマス、ハ、行政處分ニ依ッテ出來マシタ權利義務デアリ
マス、其性質ハ私權デアルカ、或ハ公權デアルカト云フ
コトニ付キマシテハ、色々御議論モアルヤウニ聞イテ居リマ
ス、當局ニ於キマシテハ、其權利ノ私權デアルト、公權デア
ルトヲ問ハズ、讓渡シ得ルモノデアルト云フコトダケヲ認メテ
居ルノデアリマス、ソレデサウ云フ趣旨カラ致シマシテ、免
許ニ屬スル權利義務ノ讓渡ヲスルコトニ付キマシテハ、差押或ハ假處分ノ
目トナラナカ、謂ハユル財產ノ價值ノアルモノデアルカ
ト云フヤウナコトニ付デハ、マダ判然ト定マツ意見モナイヤ
ウニ聞イテ居リマス、カ、考デハ普通ノ財產權トハ違フ
ト思フ、從ッテ普通ノ所有權其他ノ權利ト同ジヤウニ取扱
フコトガ出來ナイノデアリマス、唯行政上ノ取扱ヒト致シ
マシテハ、讓渡シ得ルモノデアルト云フコトダケヲ規定イタシ
テ居ルノデアリマス

○河村讓三郎君 此會社ノ合併ノ場合ニ、新シイ會社ガ
古イ會社ノ免許ニ屬スル權利義務ト云フコトヲ特ニ御用
キニナツトモ、唯今ノ御說明ノ通りノ御趣意デ御規定ニ
ナツトモトモ思ヒマス、ソレカラ又此相續ガ
目トナラナカト云フヤウナ規定ガアリマス、ソレモマア特ニサ
ウ云フ規定ノアリマス、ハ特別ノ權利デアルト云フ解釋カ
ラ出タト思ヒマス、サウ致シマス、此讓渡デアリマス、是ハ
讓渡ガ出來ルト云フダケノ規定ガアリマシテ、其讓渡ニ關ス
ルヤウナ問題ハ、民法ノ賣買ノ規定ニ依ッテ決定スルコト云フ
コトハ出來ナカナルヤウニナラ、其所ハ如何デスカ

○政府委員(佐竹三吾君) サウ云フ解釋デゴザイマス
○河村讓三郎君 別段ニ規定ハ要ラヌト云フ御考デゴザ
イマセウカ
○政府委員(佐竹三吾君) 讓渡ニ付キマシテハ別段ニ規
定ヲ必要ト致シマセヌ、唯其讓渡ヲ行政上認可ヲスレバ
レデ宜シト云フ解釋デゴザイマス

○河村讓三郎君 ソレデハ此免許シタ此免許ニ屬スル權
利義務ハ、此法律ニ規定シテアリマス、外ハ、處分スルカ
云フコトハ全ク出來ナイト云フ、例ヘバ質權ノ目的ニナルト
云フコトモ出來ズ、差押ノ目的ニナルト云フコトモ出來ナイ
ト、斷定シテ見マシテ宜シイノデアリマセウカ
○政府委員(佐竹三吾君) サウ云フ解釋デアリマス

○河村讓三郎君 ソレカラ此免許ト申シマス、ハ、是ハ營
業ノ免許デアッテ、法人ノ設立ノ免許デハナイノデアリマセ
ウカ
○政府委員(佐竹三吾君) 私設鐵道法ニ於キマシテハ
發起ノ免許、即チ假免許ヲ初メ與ヘマシテ、ソレニ基キマシ
テ會社ヲ造リマシテ、愈、工事ヲスル時ニ本免許ヲ與ヘルコ
トニナツテ居リマシタ、輕便鐵道法ニ於キマシテハ、敷設ノ免
許、鐵道ヲ敷設セムスル者ハ、免許ヲ受クベシ、敷設ノ免
許ト云フコトデアリマス、假免許ハ免許ノ區別ヲ致シテ居
ラヌノデアリマス、併ナガラ地方鐵道法案ニ於キマシテハ事
業ノ免許デアリマス、第十二條ニ、地方鐵道事業ヲ營ムトス
ル者ハ主務大臣ノ免許ヲ受クベシ、即チ鐵道事業ノ免許ト
云フコトニ致シタノデアリマス、併ナガラ此事業ノ免許ト申
シマス、鐵道ヲ敷設シ、完成シマシタ鐵道ヲ使ッテ
運輸營業ヲスル、斯ウ云フコトヲ總テ包括シタ意味ニ於キ
マシテ事業免許ト致シタノデアリマス、敷設ノ免許デアリマ
スルト、鐵道ヲ單ニ敷設スルダケノ免許デアルガ如ク見エマ
シテ、是デアリマス、所謂運輸開始營業開始モ亦免許ガ
要ルヤウニ見エルノデアリマス、之ヲ改メマシテ事業免
許ト、致シタノデアリマス

○河村讓三郎君 サウ致シマス、會社ノ設立ハ商法ノ
規定ニ依ッテ致シマス、デスカ、免許ニハ關係ナイノデアリ
マス
○政府委員(佐竹三吾君) 會社ノ設立ハ、全部商法ノ
規定ニ依ルノデアリマス
○委員長(侯爵細川護立君) マダ質問ハ盡キナイト思ヒ
マス、今日ハ是デ散會イタシマス
午後三時五十四分散會

出席者左ノ如シ
委員長 侯爵細川 護立君
副委員長 古市 公威君
委員 子爵豐岡 圭資君
子爵伊東 祐弘君
河村 讓三郎君
小松 謙次郎君
男爵福原 俊九君
佐藤 傳兵衛君

政府委員
鐵道院理事 中川 正左君
鐵道院理事 佐竹 三吾君
鐵道院理事 佐竹 三吾君